



かけがえのない子ども時代を支える

社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻

森田 満理子 准教授

【研究分野】 幼児期の教育、保育者養成、子育て支援
 【キーワード】 保育者養成、教材研究、保育内容、言葉、人間関係、素話
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=209mori>



研究概要

現在の保育者養成においては、学生が遊びや学びといった言葉の意味することを体験を通じた実感をくぐってわかりることが不可欠であるという考えのもと、体験を通ずることによる主体的学びを保証する教育研究活動を行っています。

研究紹介

1. 効果的な保育者養成のための授業研究

遊び・教材研究・立案・保育の構想について、学生が体験を通じた学びを重ねることで、遊びや学びの意味を深く理解できるようにすることを目指して、担当する複数の種類の授業科目において実践研究に取り組んでいます。現在は、主に、ルールのある遊び、素話、ことば遊びを題材としています。

2. 子育て支援に関する研究

保育現場における子育て相談体制の構築に向けて、他大学の教員との共同研究に取り組んでいます。

3. 保育実践・保育内容に関する研究

過去、幼稚園教員として勤務した時代、実践者の立場から保育内容言葉・保育内容人間関係、さらに園全員で5領域の各領域・保育内容・幼小連携等、保育の実践における保育者の指導と子どもの経験について実践研究をしてきました。

講座テーマ紹介

1. 保育者・小学校教諭を対象とした過去の講演・研修

- ・埼玉県国公立幼稚園・こども園教育研究会夏季研究協議会における講演（園生活を通じた心の形成）
- ・埼玉県幼稚園教育課程研究協議会（国公私・幼保）における講演（教育要領における領域言葉）
- ・越谷市教育委員会幼保小研修会における講演（幼保小の連携）
- ・幼稚園における園内研修講師（教材研究と環境構成の視点から実践と研究への助言等）

2. 一般を対象とした過去の講座

- ・放送大学対面授業における「幼児教育における学び」の講義

アピールポイントなど

- ・卒業生の支援として、子どもの権利の視点から子ども理解と関わりを考える勉強会を行っています。
- ・小学生の異学年間の交流を目的とした放課後子ども教室における実践研究、地域における子育て支援の実践研究において、学生スタッフの教育と実践を組み込んできました。
- ・自治体における子ども・子育て会議、子どもの権利委員会等の委員を務めています。
- ・勤務していた幼稚園からお声がけいただき評議員を務めています。